

TORO®

ローラマウント・キット

GreensPro™ 1200 グリーン用ローラ

モデル番号131-1619

取り付け要領**⚠ 警告**

カリフォルニア州

第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
ローラサポート ボルトM10 x 35 mm ハトメ ボルトM10 x 40 mm ロックナット(M10) ワッシャ M10	2 8 2 8 16 16	キットを取り付けます。

マシンの準備を行う

- ステアリングヘッドからローラのシリンダを取り外す。

注 外した部品は後の取り付けに備えてすべて保管してください。

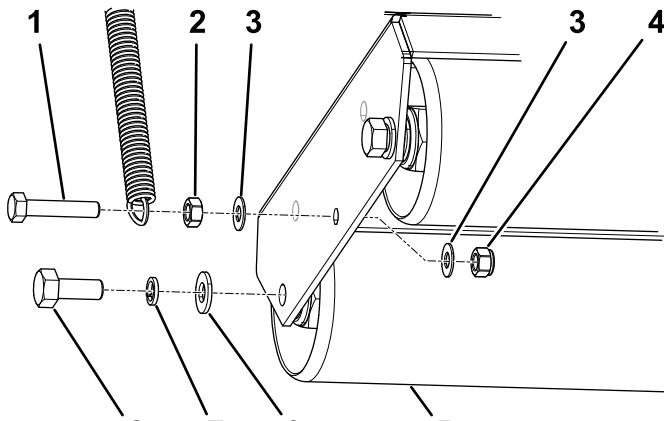


図 1

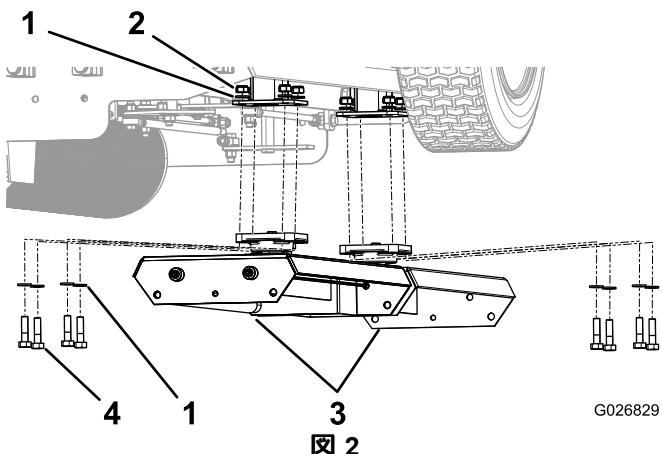
G026852

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ボルトスプリング | 5. ローラ・シリンダ |
| 2. ナット | 6. ワッシャローラ |
| 3. ワッシャスプリング | 7. スプリットワッシャ |
| 4. ロックナット | 8. ボルトローラ |

- スプリングを各ステアリングヘッドに固定しているボルト、ナット、ワッシャを外す。
- 図 2に示すように、機体からステアリングヘッドを外す。



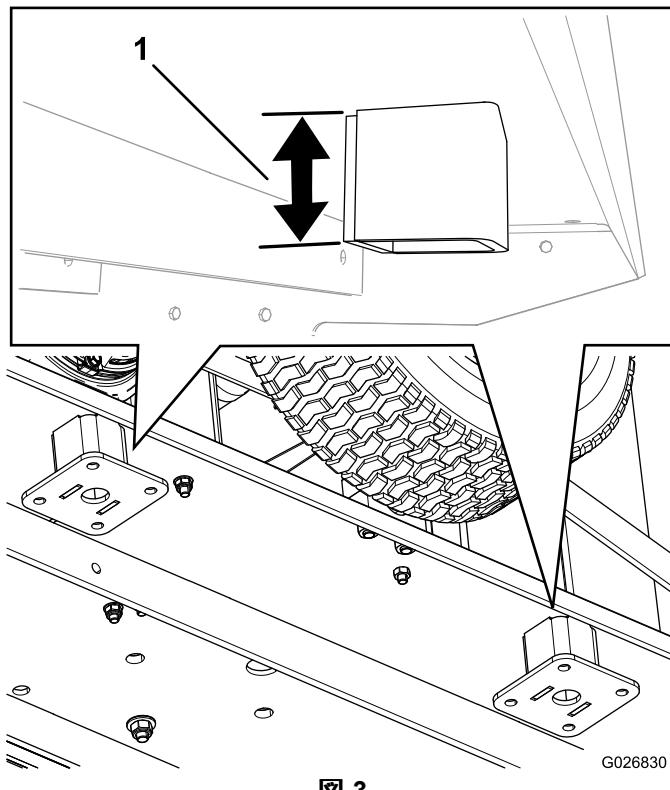
注 ワッシャとステアリングローラ・アセンブリは捨てないでください。ボルトとナットは廃棄してください。



- 1. ワッシャ 16枚捨てない
- 2. ナット8個捨てる
- 3. ステアリングヘッド
- 4. ボルト8本捨てる

4. 既存のローラサポートを、フレームから 2.5 - 5.7 cm 切り取る [図 3](#)。

重要 既存のサポートが新しいサポートの取り付けの邪魔にならないようにしてください。



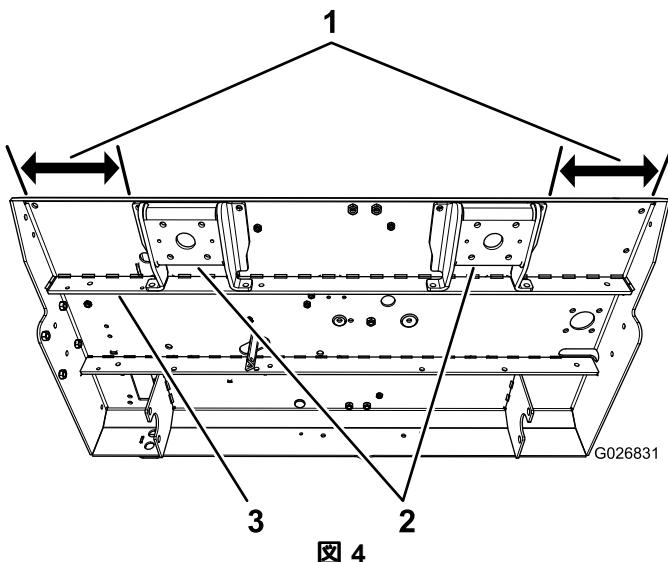
1. 2.5 - 5.7 cm

5. 切り口を磨いて滑らかにし、金属の地肌が露出している部分には塗料を塗る。
6. 亀裂がある場合にはその両端にドリルで穴を開ける溶接が溶け込みやすいように。

7. 亀裂を溶接で埋め、溶接部分をサンダーで滑らかにする。
8. 金属の地肌が露出している部分に塗料を塗る。

キットを取り付ける

1. クランプを使って、新しいローラサポートをフレームの底部に固定する。フレームのリブに当たって、フレームのエッジ前から 20.4 cm 離す [図 4](#) と [図 5](#) を参照。



- 1. 20.4 cm
- 2. ローラサポート
- 3. フレームのリブ

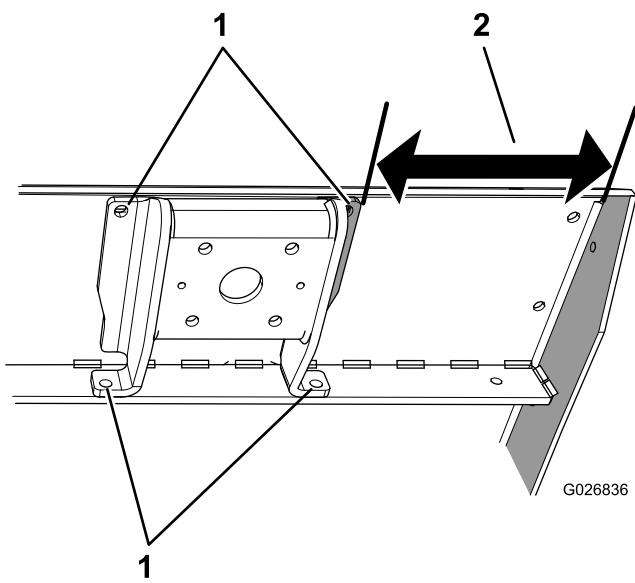


図 5
図はフロント前部

1. それぞれの穴の中央にマーキングする
2. 20.4 cm
2. 4つの穴のそれぞれの中央にマーキングする。

3. クランプを使って、もう一つの新しいローラサポートをフレームの底部に固定する。フレームのリブに当て、フレームのエッジ後から 20.4 cm 離す 図 4 と 図 5 を参照。
4. 4つの穴のそれぞれの中央にマーキングする。
5. ローラサポートとクランプを取り外し、ステップ1と2でフレームにマーキングしたそれぞれの場所に 11 mm の穴をあける。
6. 穴あけ後、金属が露出した部分には防錆のためにペイントを塗布する。
7. ボルト8本 M10 x 40 mm、ロックナット8個 M10、先ほど外したワッシャ 8枚を使用して、新しいローラサポートを、先ほど取り外したローラベアリングとスムージングローラに固定する 図 6。

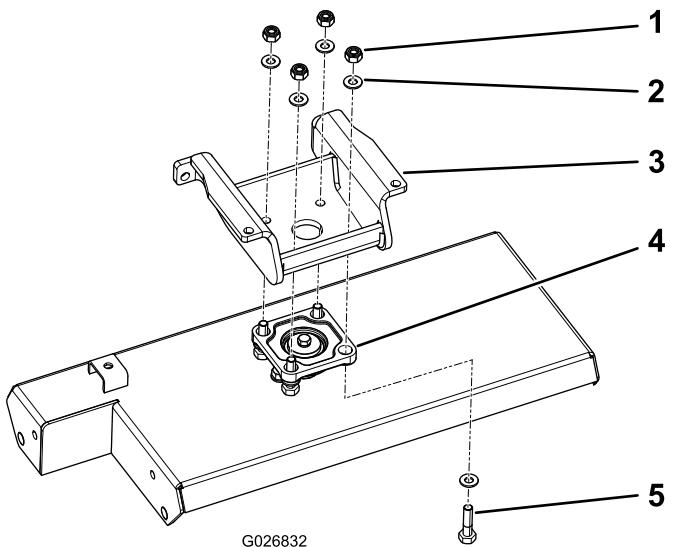
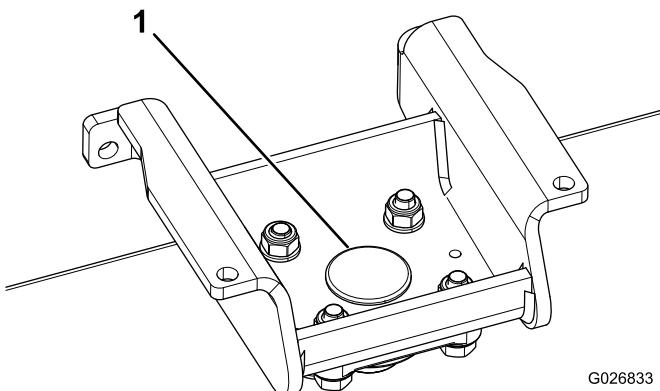


図 6

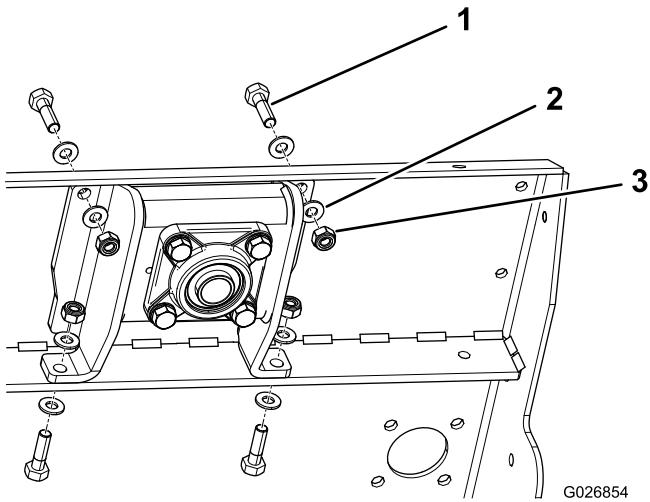
- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. ロックナット8個 | 4. ステアリングベアリング・アセンブリ |
| 2. ワッシャ既存16枚 | 5. ボルト - M10 x 40 mm 8本 |
| 3. ローラサポート2個 | |

8. 図 7 のように、グロメットを各ローラサポートの穴の上側にはめ込む。



1. ハトメ

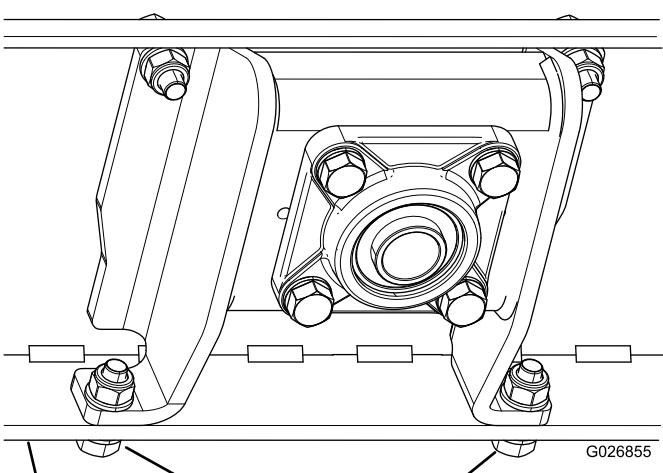
9. ボルト8本 M10 x 35 mm、ロックナット8個 M10、ワッシャ 16 枚 M10 を使って、ローラサポートをフレームに固定する 図 8。



図示していない部品があります

1. ボルト - M10 x 35 mm 8本
2. ワッシャ - M10 16枚
3. ロックナット - M10 8個

注 最初に、サポートをフレームに固定しているボルトとナットを締め付け、次に、サポートをフレーム上部に固定しているボルトとナットを締め付ける 図 5。



1
2

図示していない部品があります

1. フレームのリブ
2. これらのボルト・ナットを先に締め付ける。

10. ステアリングヘッドにローラのシリンダを取り付ける。

重要 短い方のローラシリンダを、短い方のチューブが外側になり、長い方のチューブが内側になるように取り付ける図10。これにより、ローラチューブ同士の継ぎ目部分がズレるのでターフとの接触がよくなる。

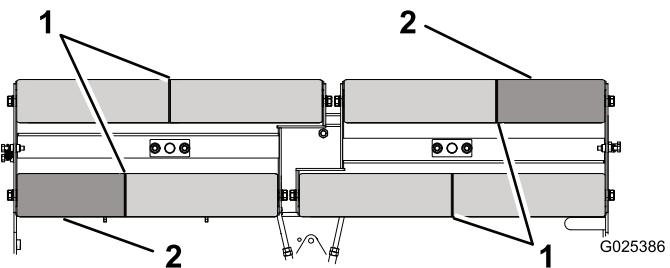


図10

1. ジョイント部 2. 短いローラチューブ

11. 2スプリングのそれぞれを、ステアリングヘッドに取り付ける先ほど外したボルト・ナット類を使用する図11を参照。

注 各ボルトの軸の部分を多少露出させてください。

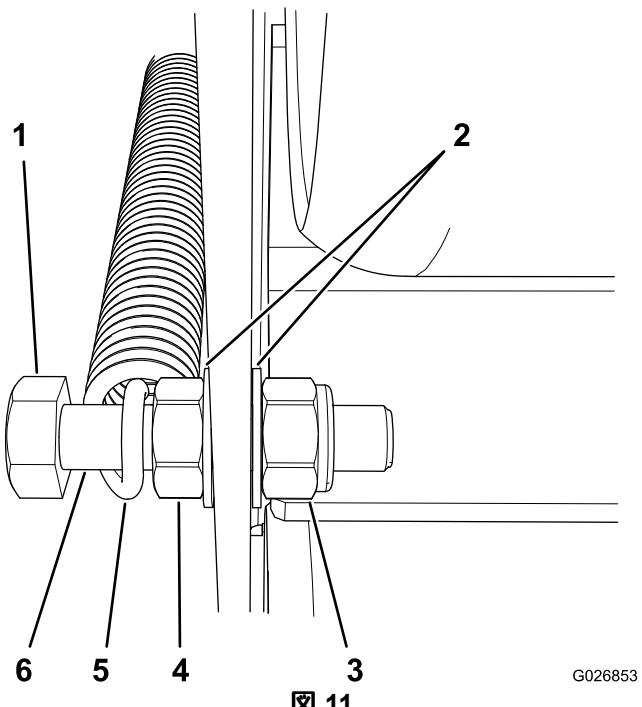


図11

1. ボルト
2. ワッシャ
3. ロックナット
4. ナット
5. スプリング
6. 露出しているボルト部分

12. 機体を床の上に置き、前後のローラが平行になっていることを確認する各ローラの前面に全長にわたって直定規を当てて確認すれば全長で2mm図12。

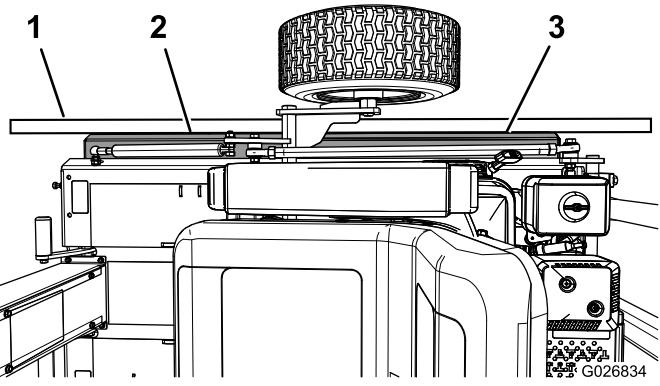


図12

1. 直定規
2. 前ローラ・アセンブリ
3. 後ローラ・アセンブリ

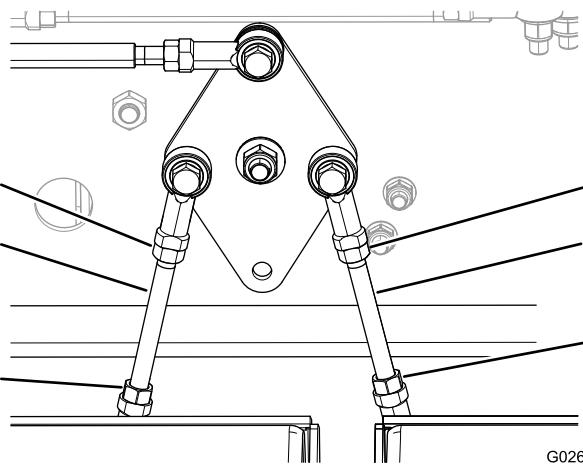


図13

1. ジャムナット 2. ねじ山付きロッド

13. 必要に応じてステアリングロッドの長さを調整する図13。

注 ステアリングロッドはターンバックル式になっています。ロッドの一端は左ねじになっており、もう一端は右ねじになっています。各ステアリングロッドの調整は、ねじ式になっているロッドを回して行ってください。調整ができたらジャムナットを締め付けてください。